
酒は呑んでも呑まれるなってよくいうよね

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

酒は呑んでも呑まれるなってよくいうよね

【Nコード】

N1384M

【作者名】

朔架

【あらすじ】

お酒はほどほどにって話っぱいものです

本日飲み会です。

（なんだかなあ……。）

と私、雲井千絵クモイチエは思った。

というか、ハタチになってないのに居酒屋に行っても大丈夫なのかが不安だった。

今日行くメンバーはあたし以外、誕生日が来てて、ハタチなんだよね……。

「いらっしやいませー。予約された見浪様ミナミですねー。席まで案内しますー。」

（……）

案内されちゃったよ！

いいんだ、こんなんだ！

「さ、飲むよ、今日はとことん飲むよー！」

「千絵何にする？」

「あたしは、普通にカルピスでいいよ。皆は飲めば？」

「そ？じゃあ遠慮なく！んーと、イチゴのカクテルにしようかなー。」

「決まったら注文するよー！」

……

「あっはは、あーっはっはっは！ー！」

「……千絵飲んでないよね？」

「……うん。」

（（（なんだこのハイテンション！）））

「ん？どうしたの？」

「…ま、いつか。で、最近どうなのさ？」

ま、女が集まればやることは1つ。

ガールズトークだ。最初は、お気に入りのお店。あんな服欲しいとかなんだけど。

そのうち、キワドイ話になるもので。

「ぶっちゃけ、キュンってするポイントは？」

「えー。それはさあ…。」

予約でよかった、個室でよかったと思うほど女の本音がでるもんです。

「やっぱり、強引なのがいいんだってー。」

「えー強引過ぎるのはやだなー。」

……………

「今日は楽しかったねー。じゃ、また」

「まったねー！！あははー」

（（（だから何でやたら笑ってんの！）））

皆様、お酒はハタチから！！

（後書き）

ども、朔架です。

飲み会の空気に流される人です。

やたら笑います。何がおかしいのか分かってすらいなくていう駄目さ加減。

それ以前に飲んじゃいけない年齢（笑）ですけど。

でも、1回は普通に飲んでみたいなとも、思います。
まだ、1年と1ヶ月はNGですが（笑）

ま、それはおいといて、

あれです、暇は人をおかしくしますね。

平日に更新するつもりなかったのに、

なぜかパソコンに向かっていているという現実（笑）

そしてあと、30分ほどで、日付が変わるんですが

著者は仕事お休みなんで、とても暇です。

なので、気が向いたら、また更新します。

（それ以前に今からもういつこ更新するつもりですが）

では。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1384m/>

酒は呑んでも呑まれるなってよくいうよね

2011年1月3日18時42分発行